



とりいれ

実をきずつけないように、ていねいにとります。



選果場

品しつ・つぶの大きさをくべつしてわけます。



はこづめ

はこづめの仕事をきかいでやります。



はつが

3月の終わりごろにめが出てきます。



りんごの花

白い花がさきます。



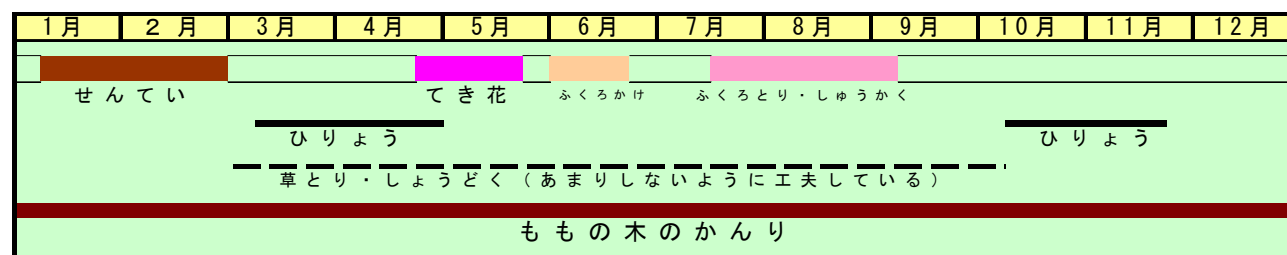
はなすぐり

ミツバチを使ってじゅぶんさせます。

福島盆地^{ぼんち}でのももづくりは、毎年1月から始められます。実のしゅうかくは夏に行われますが、おいしいももをつくるために冬から準備^{じゅんび}をしています。冬の大切な作業に「せん定」というえだを切る仕事があります。次の年に、葉や実によく光があたり、また仕事がしやすいように、冬の間^{ふよう}に不要なえだを切り落とします。

ももの仕事ごよみ

※J A伊達みらい調べ



せん定

くだものの木の生育や結実を調節するため、えだの一部を切りとること。

てき花

よい果実をえるために、適当な数の花だけを残してほかの花をつみとること。

選果(せんか)

くだものの実を、大きさやできくあいなどによってえり分けること。

りんごづくりの仕事はどのようされているのでしょうか。

(2) りんごづくり

さとるさんは、りんごづくりについて調べてみました。



「ぼくのおじいさんの家のあ
る青森では、9月ころにりん
ごをとっていたんだけどな。」



↑ ふじ



りんごをつくっている方の話

おいしいりんご作りのためにたい肥^ひをまいています。農薬はできるだけまく回数をへらしています。わたしの畑では「ふじ」という品種のりんごを作っています。気候^{きこう}がふじの実の生育にとっても合っているし、水はけのよい土地なのでおいしいりんごができます。